記者発表資料

平成２６年６月６日
ＥＥ東北実行委員会

２日間の来場者数は、過去最多の約1万3千人！
～「EE東北’１４」を開催 ～

建設事業に係わる新技術、新工法が一堂に会し公開する「ＥＥ東北’１４」を、**６月４、５日に開催**しました。

会場の「夢メッセみやぎ」において、**出展者２９８、出展技術７９２の展示**を行いました。

来場者数は、２日間で**過去最多の１２，８００人**となり、新技術への関心と早期復興への期待が伺えました。

○来場者数：６月４日（水）　７，４００人
６月５日（木）　５，４００人
２日間　計　　１２，８００人（前回１２，０００人）

○実施内容：①開会式　開会宣言・あいさつ・来賓祝辞・テープカット

②新技術展示会　出展者２９８、出展技術７８２の展示
開催期間中は、学生や一般、地方公共団体、建設事業の関係者等、多くの方が来場されました。

③新技術プレゼンテーション　出展者から４０技術の発表
２日間で２，５００人の方に聴講いただきました。

（発表記者会）宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

【お問い合わせ先】　ＥＥ東北実行委員会事務局（東北地方整備局 東北技術事務所内）
東北技術事務所 副所長　狩野（かりの）武志（たけし）
東北技術事務所 施工調査･技術活用課長　下田（しもだ）一朗（いちろう）
住所：多賀城市桜木３丁目６－１　電話０２２－３６５－８０４７
ＥＥ東北公式サイト：http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/eetohoku/ee14/

建設技術公開「ＥＥ東北’１４」の開催概要

○ キャッチコピー　：　活かそう新技術 復興から発展へ

○ 開催日時

平成２６年６月４日（水）　１０：００～１６：３０

平成２６年６月５日（木）　　９：３０～１６：００

○ 開催場所

夢メッセみやぎ （仙台市宮城野区港３－１－７）　屋内展示場、屋外展示場

○ 目　　的

建設事業に係わる新技術、新工法、新材料、その他時代のニーズに対応して開発された技術を一堂に会し公開することで、その普及を図ることにより、さらに新たな技術開発の促進と、良質な社会資本の整備を通じて社会に寄与することを目的として、開催します。

※ ＥＥとは英語の Engineering　Exhibition（エンジニアリング　エキシビション）の略で、新技術を広く公開するという意味が込められています。平成２年から開催されており、今回で２４回目の実施となります。

○ 主　　催

ＥＥ東北実行委員会（委員長：東北地方整備局　企画部長）

［構成団体名］

一般社団法人日本建設業連合会東北支部、一般社団法人日本道路建設業協会東北支部、一般社団法人日本建設機械施工協会東北支部、一般社団法人東北コンクリート製品協会、一般社団法人全国特定法面保護協会東北地方支部、東北建設業協会連合会、一般社団法人東北地域づくり協会、一般社団法人日本埋立浚渫協会東北支部、一般社団法人建設電気技術協会東北支部、一般社団法人建設コンサルタンツ協会東北支部、東北地方整備局、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市、東日本高速道路株式会社東北支店

○ 後　　援

公益社団法人土木学会東北支部、一般財団法人日本建設情報総合センター、一般財団法人先端建設技術センター、河北新報社、日刊建設工業新聞社東北支社、株式会社日刊建設通信新聞社、日刊建設産業新聞社、株式会社建設新聞社、株式会社日本建設新聞社

○ 開催経緯

	EE東北’10	EE東北’11	EE東北’12	EE東北’13	EE東北’14
開 催 日	H22.6.2～6.3	(H23.6.1～6.2→中止)	H24.10.24～10.25	H25.6.5～6.6	H26.6.4～6.5
出展者(社)	141	（171 → 中止）	295	290	298
来場者(人)	6,000	（中止）	9,760	12,000	12,800

※EE東北は平成2年から開催、EE東北’14は24回目(EE東北’11は中止)

建設技術公開「ＥＥ東北’14」の開催

24回目のＥＥ東北が6月4,5日の２日間にわたって開催。出展者（298社）・出展技術（782技術）ともに過去最多となったＥＥ東北’14、各ブースは終始多くの来場者（約13,000人）で賑わいをみせました。



オープニングセレモニー（開会式）の様子



実行委員長による開会宣言



来賓挨拶（本省山内課長）

新技術をより多くの方に理解していただくため、出展者自らが説明し、多くの聴講者に参加いただきました。



来賓、実行委員会構成団体によるテープカット



新技術プレゼンテーションは、２日間で2，500人が聴講

『活かそう新技術 復興から発展へ』
『復旧復興』や『維持管理・予防保全』、『防災安全』など6つの技術分野について、建設事業に関わる新技術・新工法の展示が屋内・屋外で行われました。



屋内展示場（全景）



屋外展示場（全景）



復興道路を支える10の建設技術パネル展をコンコースにて開催



デモ機に触れて実際に体験